

## スリナム:Apache と Total、沖合 Block58 で大規模な炭化水素の埋蔵を確認

(出所:LatAmOil、Platts Oilgram News、International Oil Daily、BNamericas 他)

1. Apache と Total は、スリナム沖合 Block58 で掘削した探鉱井 Maka Central 1 号井、Sapakara West 1 号井、Kwaskwasi 1 号井で、それぞれネットペイ 123m、79m、278m の油層、コンデンセート層を確認した。埋蔵量の具体的な規模についての言及はないものの、両社は大規模な炭化水素の埋蔵を確認したと発表し、引き続き、探鉱井と評価井の掘削を続けている。
2. スリナム陸上では国営石油会社 Staatsolie により 1980 年代から原油の生産が行われており、近年の原油生産量は 1 万 5,000b/d 程度となっている。沖合については、特に、ガイアナ沖合で Liza 油田が発見されて以降、メジャーをはじめとする石油会社の参入の動きが活発化し、探鉱が行われてきたが、これまで商業規模の油田の発見はなかった。
3. 2020 年 5 月 25 日に実施された総選挙の結果を受け、Desi Bouterse 前大統領から Chan Santokhi 大統領にスムーズな政権交代が行われた。Santokhi 政権は、石油・ガス開発を支援し、外資の誘致に力を入れる方針を示している。

USGS(米国地質調査所)は 2000 年に、ガイアナ、スリナム、仏領ギアナの沖合と一部陸上を含む Guyana Basin は世界で最も有望な堆積盆地の一つで、埋蔵量のポテンシャルは原油 150 億 bbl、天然ガス 40Tcf であると発表した。

このうち、仏領ギアナでは 2011 年に Tullow Oil が Zaedyus 井を掘削、石油を確認した。Zaedyus 油田は仏領ギアナ初の油田として注目を集めたが、その後、当初の予想より規模が小さいことが判明した。また、フランス政府が 2017 年 8 月に 2040 年までに同国の全領域内での探鉱・開発を中止する法案を上程、12 月 19 日にフランス議会在これを可決した。政府は新たに炭化水素に関するライセンスを付与することはせず、既存のライセンスについても 2040 年までに終了させることとした。このような状況から、仏領ギアナでは探鉱・開発への新規参入の動きはなくなり、活動は停滞している。

一方、ガイアナでは 2015 年に ExxonMobil が Liza 1 号井で油層を確認、その後も油田発見が続き、2019 年末にはガイアナ初の石油生産が始まった。政争や政権交代、新型コロナウイルス感染拡大により、開発に一部遅れが見られるものの、ExxonMobil は 2026 年までに石油 75 万 b/d を生産することを計画している。

スリナムは 1982 年以降、少量ではあるものの陸上で石油生産を行っており、3 か国中唯一の産油国であった。にもかかわらず、これまで沖合での掘削では商業規模の油・ガス田を発見できず、この点では

### Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

ガイアナや仏領ギアナの後塵を拝していた。ところが、2020年に入り、ApacheとTotalが沖合で掘削した3坑の探鉱井でいずれも油層が確認された。スリナムが、今後、石油生産量、輸出量を増やし、ガイアナと並ぶ探鉱・開発のホットスポットとなることのできるのか注目を集めている。

## 1. ApacheとTotal、沖合Block58で油層確認

ApacheとTotalは2020年に入り、スリナム沖合Block58(面積約140万エーカー、水深100~2,100m)で掘削した探鉱井3坑で立て続けに、油層を確認したと発表した。

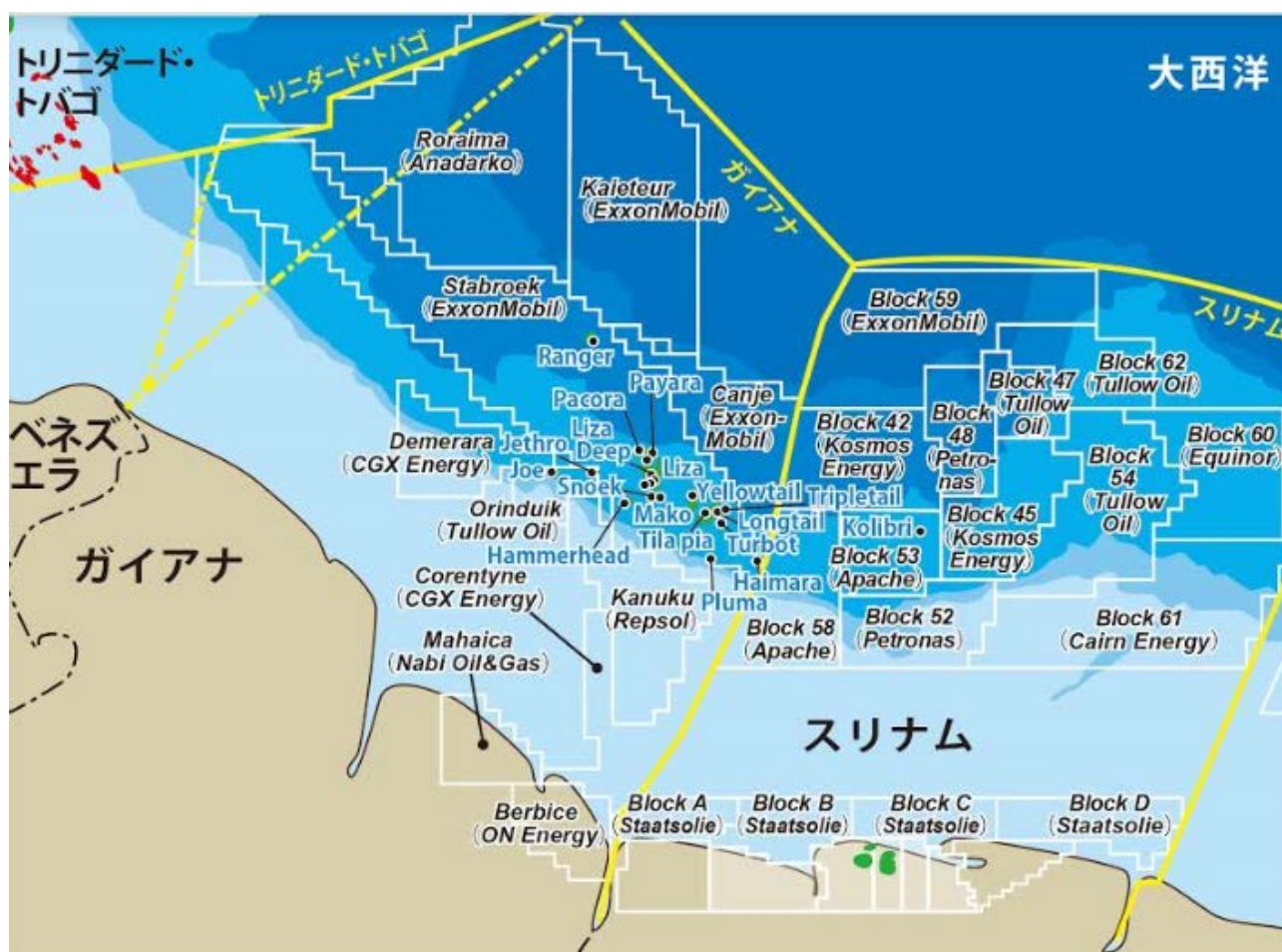


図1. ガイアナ及びスリナム鉱区図

(各種資料を基に作成)

Apacheは、2015年1月にスリナム政府が実施した鉱区入札でBlock58を落札し2015年6月にPS契約を締結した。

### Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

その後、Apache は2016年に同鉱区で3D地震探鉱6,250km<sup>2</sup>を実施した。

そして、2019年9月から、ドリルシップ Noble Sam Croft を用いて Maka Central 1号井を掘削した(掘削長6,200m)。Apache は12月2日、2プレイの評価を行ったとしたが、その結果を公表せず、掘削長6,900mまで掘削を続けることを明らかにした。このような状況から、Apache は同井の掘削で有望な結果を得られなかったのではないかと見る向きもあった。

ところが、12月22日に Total が Block 58 の権益50%を取得することで Apache と合意したことが明らかにされた。Maka Central 1号井を含む最初の3坑の掘削については Apache がオペレーターを務め、その後は Total が同鉱区のオペレーターとなるということであった。Total は Apache に1億ドルを支払うとともに、Apache がこれまで同鉱区に投じた探鉱費の50%を支払う。さらに、油田が発見され開発に移行した場合、Total は Apache 分の評価・開発コスト50億ドル以上を負担することなどが合意された。Total が Block58 の探鉱に参入することになったことで、同鉱区への期待が再度高まった。

そして、Apache と Total は2020年1月7日に、Maka Central 1号井の掘削結果を明らかにした。白亜系 Campanian でネットペイ50mの軽質油、コンデンセート層(API比重40~60度)が、Santonian でネットペイ73mの油層(API比重35~45度)が確認された。両社は、発見した油田の規模については触れなかったが、コンサルタントの Wood Mackenzie は埋蔵量の規模を原油3億 bbl、コンデンセート1.5億 bbl、ガス1.4Tcf、GlobalData は可採埋蔵量を3億 bblとみているとした<sup>1</sup>。

続いて、Apache と Total は Noble Sam Croft を Maka Central 1号井の南東19kmの海域に移動し、Sapakara West 1号井を掘削した。両社は4月2日、同井を掘削長6,300mまで掘削し、白亜系 Campanian でネットペイ13mのコンデンセート層とネットペイ30mの油層(API比重35~40度)、Santonian でネットペイ36mの油層(API比重40~45度)を確認したことを明らかにした。

Apache と Total は次に、Noble Sam Croft を Sapakara West 1号井から北西に10kmの海域に移動し、Kwaskwasi 1号井を掘削した。7月29日、両社は同坑井を掘削し(掘削長約6,645m)、白亜系 Campanian でネットペイ63mの油層とネットペイ86mの石油、コンデンセート層(API比重34~43度)、Santonian でネットペイ129mの炭化水素層(API比重についてはデータ収集中)を確認したと発表した。具体的な埋蔵量については明らかにされなかったが、両社は世界的な規模の炭化水素の埋蔵を確認したと発表した。

今後は、Total がオペレーターを引き継ぎ、Sapakara West 1号井の南東14kmの海域に Noble Sam Croft を移動し、Keskesi East 1号井を掘削するという。さらに、2021年には Block58 で評価井の掘削キャ

---

<sup>1</sup> LatAmOil, 20200730

**Global Disclaimer(免責事項)**

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

ンペーンを実施する計画である。

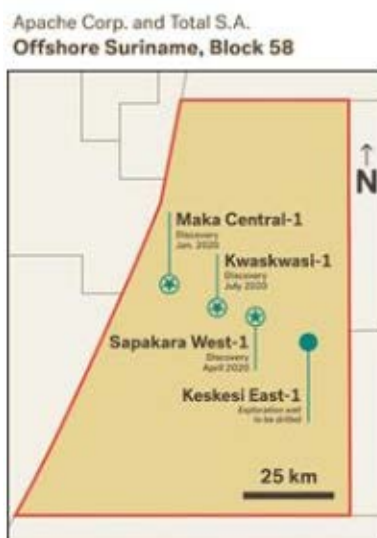


図 2. Block58 鉦区図

(出所: Apache website)

なお、8月に入り、スリナム国営石油会社 Staatsolie は、Block58 の権益を取得することを求める可能性があると述べた。Apache 及び Total との契約によると、Staatsolie は Block58 の権益 20%までを取得する権利を保持している。しかし、Staatsolie が権益持ち分に応じた資金を拠出するのは困難であるとの見方もある。Staatsolie のジェネラル・マネージャー代理 Agnes Moensi-Sokowikromo 氏も同社はプロジェクトへの参加を熱望しているが、資金調達の準備が整っていることを確認しなければならないと語っている。Block58 の開発にかかる総費用は 60～70 億ドルとみられており、権益 20%を保有することになれば、Staatsolie は 10～15 億ドルを調達しなければならない<sup>2</sup>。

ちなみに、Block58 は国境を隔てて、ExxonMobil が Liza 油田を発見した Stabroek Block に隣接しているが、両者の地質的相関性についての詳細は明らかにされていない。

<sup>2</sup> LatAmOil, 20200806

**Global Disclaimer(免責事項)**

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

表 1. スリナム Block58 及びガイアナ Stabroek Block での掘削状況

国 鉱区	坑井	掘削時期(年/月)	掘削長	結果など
スリナム Block58	Maka Central 1	2019/9～2020/1	6,900m	ネットペイ 123m の油層、コンデンセート層を確認。
	Sapakara West 1	～2020/4	6,300m	ネットペイ 79m の油層、コンデンセート層を確認。
	Kwaskwasi 1	～2020/7	6,645m	ネットペイ 278m の炭化水素層を確認。
ガイアナ Stabroek Block	Liza 1	2015/3～5	5,433m	90m の砂岩の油層を確認。油田は大規模と発表。
	Liza 3	2016/9～10	5,709m	Liza 油田の可採埋蔵量は以前発表された 8～14 億 bbl の上限に近いと推測。
	Payara 1	2016/11～12	5,512m	29m 以上の油層を確認。
	Snoek 1	2017/2～3	5,175m	25m の油層を確認。
	Turbot 1	2017/8～9	5,622m	23m の砂岩の油層を確認。
	Ranger 1	2017/11～2018/1	6,450m	70m の油層を確認。同鉱区の埋蔵量を 32 億 boe 以上に引き上げ。
	Pacora 1	2018/1～2	5,597m	20m の砂岩の油層を確認。
	Longtail 1	2018/5～6	5,504m	78m の砂岩の油層を確認。
	Hammerhead 1	2018/7～8	4,225m	60m の砂岩の油層を確認。
	Pluma 1	2018/11～12	5,013m	37m の砂岩の油層を確認。同鉱区の可採埋蔵量を 50 億 boe に上方修正。
	Haimara 1	2019/1～2	5,575m	63m の砂岩の油層を確認。
	Tilapia 1	2019/1～2	5,726m	93m の砂岩の油層を確認。
	Yellowtail 1	2019/3～4	5,622m	89m の砂岩の油層を確認。同鉱区の可採埋蔵量を 55 億 boe に上方修正。
	Tripletail 1	～2019/9	N.A.	33m の砂岩の油層を確認。同鉱区の可採埋蔵量を 60 億 boe 以上に上方修正。
	Mako 1	2019/11～12	N.A.	50m の砂岩の油層を確認。
Uaru 1	2020/1	N.A.	29m の砂岩の油層を確認。同鉱区の可採埋蔵量を 80 億 boe 以上に上方修正。	

(各種資料を基に作成、Stabroek Block については油層が確認された坑井のみを記載)

## 2. スリナムの探鉱・開発状況

Oil & Gas Journal によると、スリナムの 2020 年初の原油確認埋蔵量は 7,440 万 bbl で世界第 72 位、2019 年の原油生産量は 1 万 4,500b/d で同第 69 位となっている。これは Staatsolie が中心となり探鉱・

### Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

開発が続けられているスリナム陸上 Tambaredjo 鉱区の Tambaredjo 油田(生産開始 1982 年)及び Tambaredjo Northwest 油田(同 2010 年 7 月)、Calcutta 鉱区の Calcutta 油田(同 2006 年 3 月)によるものである。生産される原油は Saramacca blend と呼ばれ、API 比重は 16 度となっている。首都 Paramaribo 近郊にはスリナム唯一の製油所である Tout Lui Faut 製油所がある。同製油所は 1997 年 8 月に稼働、当初、精製能力は 7,000b/d であったが、2015 年に Staatsolie が 7 億ドルを投じ、精製能力を 1.5 万 b/d に引き上げた。天然ガスについては、これらの油田からごく少量の随伴ガスが生産されている。

Staatsolie は 2008 年に、沿岸部浅海 Block1~7(2016 年に Block A、B、C、D に名称変更)の権益を取得し、浅海での探鉱も行っている。Staatsolie の子会社 Paradise Oil が、2012 年に Block4 で 2D 地震探鉱を実施、2014 年に評価作業を実施、2015 年に 5 坑を掘削、うち 4 坑で出油に成功したものの、資金不足から作業が停止していた。その後、資金が確保できたことから、Staatsolie は 2019 年 4 月より掘削会社 Seadrill 社のジャッキアップリグ West Castor を用い Block A、B、C、D で探鉱井 6 坑 (Marai 1、Electric Ray 1、Kankantrie 1、Powisie 1、Gonini 1、Tukunari 1) を掘削したが、商業規模の油田は発見されなかった。Staatsolie は貴重なデータが収集でき、4 坑で油徴を見たとし、当初 9 坑予定されていた掘削計画を 6 坑の掘削に縮小した。

沖合については、政府と Staatsolie が 2001 年以降ライセンスラウンドを実施、2006 年以降は石油会社との個別交渉も実施したことで、Staatsolie 以外に海外の石油会社も探鉱・開発に参入するようになった。これらの石油会社により地震探鉱や掘削が行われてきた。そして、特にガイアナ沖合の Stabroek Block で ExxonMobil により Liza 油田が発見されてからは、メジャーをはじめとする石油会社の参入の動きが活発化してきた。2015 年 10 月には Noble Energy (Chevron が買収交渉中) が Block54 にファームイン、2016 年 3 月には Hess が Block42 にファームイン、2017 年には ExxonMobil、Equinor、Hess が Block59、Equinor が Block60 のライセンスを取得した。そして、Block47 には、2017 年に Ratio が、2018 年に Pluspetrol がファームインした。さらに、2018 年には英 Cairn Energy が Block61、英 Tullow が Block62 を取得、2020 年 5 月には ExxonMobil が Petronas から Block 52 の権益の 50% を取得してファームインした。参入活発化により、Petronas が Block52 で 2016 年に Roselle1 号井、Kosmos が 2018 年に Block45 で Anapai1 号井、Block42 で Pontoenoe1 号井、Apache が Block53 で 2015 年に Popokai1 号井、2017 年に Kolibriel 号井、Tullow が Block54 で 2017 年に Araku1 号井を掘削するなど、探鉱が盛んに行われるようになった。しかし、今回 Apache と Total が炭化水素を発見した Maka Central 1 号井以前は商業規模の油田発見はなかった。

**Global Disclaimer(免責事項)**

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

表 2. スリナム沖合鉦区の権益保有及び探鉦状況

Block	権益保有状況	探鉦状況
42 45	Kosmos Energy が 2011 年 12 月に権益 100% を取得。2012 年 6 月に Chevron が権益 50% を取得。両社は 2016 年、Hess に Block42 の一部権益をファームアウト。3 社が等しく権益を保有。	Hess は参入時の条件で 3D 震探 6,500 km <sup>2</sup> を実施。2018 年 6 月に Block45 で Anapai 1 号井、10 月に Block42 で Pontoenoe1 号井を掘削もドライ。
47	Tullow Oil が 2010 年に PS 契約締結。2011 年 11 月に Equinor が権益 30% を取得したが、後に撤退。2017 年に Ratio が権益 20%、2018 年に Pluspetrol が権益 30% を取得しファームイン。	2012 年に 3D 震探 3,000 km <sup>2</sup> を実施。GVN1 号井の掘削を 2021 年第 1 四半期に計画。
48	Murphy が 2011 年に PS 契約を締結。2014 年初に Petronas が権益 50% を取得。2015 年、Murphy が撤退。	—
52	Petronas が 2013 年 4 月に同鉦区を取得。RWE Dea が権益の 40% を取得し、ファームインしたが撤退。2020 年 5 月、ExxonMobil が権益 50% を取得。	2013 年に 3D 震探 1,800 km <sup>2</sup> を実施。2016 年に探鉦井 Roselle1 号井を掘削したが、ドライ。2020 年第 3 四半期か第 4 四半期に Sloanea 1 号井を掘削する計画。
53	Apache が 2012 年のライセンスラウンドで同鉦区を取得。CEPSA、Petronas がファームイン。	2013 年に、地震探鉦を実施。2015 年に Popokai 1 号井を掘削、商業規模の油田を発見できず。2017 年に Kolibri 1 号井を掘削、ドライ。
54	Tullow Oil、Equinor が、2013 年のライセンスラウンドに応札。2014 年 1 月、同鉦区を取得。商業規模の油田発見があれば、開発、生産段階で Staatsolie が最大 20% の権益を取得する。2015 年に Noble Energy が権益 20% を取得。	3 年間に 3,500 万ドルを投じ、地震探鉦とデータの評価を実施。2017 年 10 月、Araku 1 号井を掘削したが、ドライ。
58	Apache が 2014 年のライセンスラウンドに応札。2015 年 6 月、PS 契約を締結。2019 年 12 月に Total が権益 50% を取得。商業規模の油田発見があれば、開発、生産段階で Staatsolie が最大 20% の権益を取得する。	2016 年に 3D 震探 6,250 km <sup>2</sup> 実施。2019 年 9 月より Maka Central 1 号井、2020 年に Sapakara West 1 号井と Kwaskwasi 1 号井を掘削、いずれの坑井でも油層を確認した。Keskesi 井掘削と評価井の掘削キャンペーンを計画している。
59	2017 年 7 月、ExxonMobil、Equinor、Hess が PS 契約を締結。3 社が等しく権益を保有。	2D 震探を実施する計画。
60	2017 年 7 月、Equinor は PS 契約を締結。	地質調査、地震探鉦、探鉦井掘削を行う計画。
61	2018 年 6 月、Cairn Energy が権益 100% を取得。	—
62	2018 年 9 月、Tullow Oil が PS 契約締結。権益の一部を Pluspetrol に移転。	—

(各種資料を基に作成)

**Global Disclaimer(免責事項)**

本資料は石油天然ガス・金属鉦物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

スリナムでは、2020年第3四半期以降、PetronasとTullow Oilにより掘削が計画されている。

Petronasは、沖合Block52での掘削用にセミサブマーシブルリグMaersk Developerのリース契約をMaersk Drillingと締結した(契約額2,040万ドル)。Petronasはこのリグを用いて、2020年第3四半期か第4四半期より75日をかけ同鉱区内でSloanea 1号井を掘削する。同鉱区の権益保有比率は、PetronasとExxonMobilが50:50となっているが、商業規模の油田が発見された場合にはStaatsolieが権益20%を取得することになっている。

一方、Tullow Oilは、Block 47のGoliathberg-Voltzberg Northプロスペクトでの最初の坑井GVN1号井の掘削を2020年第4四半期に計画していたが、これを2021年第1四半期に延期することとした。Tullow Oilは掘削延期の理由についてはコメントしていない。

### 3. スムーズな政権交代で探鉱・開発進展か

スリナムでは、2020年5月25日に総選挙が実施され、国会の議席数51に対し、野党の統一改革党(VHP)が20議席を獲得し、16議席を獲得した与党の国民民主党(NDP)を押さえて勝利した。国家元首である大統領は国会において選出されることになっており、2010年から2期、10年にわたり大統領を務めてきたDesi Bouterse氏が退陣を拒み、権力の座にしがみつくとはいえないか、そして、それが沖合での探鉱に影響を及ぼすのではないかと懸念する向きもあった。

というのも、お隣のガイアナでは、2018年12月に国会でDavid Granger政権に対する不信任案が成立したものの、Granger政権がこれを受け入れず、政権交代が泥沼化したためである。カリブ共同体の最高裁にあたる司法機関、カリブ司法裁判所(Caribbean Court of Justice:CCJ、トリニダード・トバゴ)でこの不信任決議についての審理が行われた。2019年6月にCCJはこの不信任案は有効であると判断、これを受け、Granger政権は総辞職し、2020年3月2日に総選挙が実施された。しかし、総選挙で不正があったとして票の再集計と法廷闘争が続き、ようやく8月2日に、選挙管理委員会が野党・人民進歩党(PPP)の勝利を発表し、同党候補のIrfan Ali元住宅相(40歳)が大統領に就任することとなった。しかし、この間、1年半程度、Stabroek Block 開発の第3フェーズの政府承認やGranger政権が取り組んできた石油法や規制の見直しについての議論が遅延することとなった。

しかし、スリナムに関しては、大方の予想に反し、現職のBouterse大統領が退陣に同意し、7月16日にChandrikapersad Chan Santokhi元法務・警察大臣(61歳)が大統領に就任し、Santokhi政権が成立した。少なくともスムーズな政権交代が行われたことから、ガイアナのように政治的不安定要因が石油産業

#### Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。



の発展を挫くリスクは、ひとまず大幅に軽減することができたと見られている。また、Santokhi 政権は、石油・ガス開発を支援し、外資の誘致に力を入れる方針を示している。

ただし、Santokhi 政権の先行きは不透明と見る向きも多い。ボーキサイトなど鉱物資源に富むスリナムは、近年の資源価格下落で経済情勢が悪化していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により観光業も打撃を受け、経済状況はさらに悪化していると伝えられている。また、Bouterse 前大統領は、2019 年 11 月 29 日に 1982 年に自らに批判的なジャーナリストなど 15 人の殺害を指示した罪で禁錮 20 年の有罪判決を言い渡されている他、麻薬取引や汚職にも関与していたとされ、その一派の多くがいまだに権力と影響力のある地位を維持しているという。

新政権は、今のところ、契約条件を大幅に変更する様子は見せていないが、ただ独立した石油・ガス規制当局の設立など、様々な動きもあるようであり、今後どのような探鉱・開発政策がとられるのか注視していきたい。

以上

**Global Disclaimer(免責事項)**

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。